

教育研究評議会議事録（第239回）

日 時：令和6年7月25日（木）15時00分～15時55分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、喜多、山本、水野、小藤田、小林、松岡、海妻、宮川、林、横山、清水、
長田、伊藤、木村、柴垣、村上、宮本、天木、萩原、澤井

配付資料

- 報告1 国立大学法人岩手大学役員等体制について
- 報告2 ビジョン2030・セントラルドグマの図について
- 報告3 特別な支援を必要とする学生に関する教員FD研修の再配信について
- 報告4 提携講義（教養教育科目「社会連携学A」「社会連携学B」）について
- 報告5 共同研究部門の設置について
- 報告6 寄附講義「いわて観光・地域魅力発掘人材育成講座」の設置について
- 報告7 教員人事会議報告（教育学部、理工学部、農学部）
- 報告8 役員会報告（564回）
- 報告9 学長・副学長会議報告（第294回、295回）
- 報告10 入試結果の報告について

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり確定することとした。

議 題

1. その他

なし。

報 告

1. 役員体制について

学長から、資料に基づき、大学経営に関わる「財務」や「労務」という職責を担う者であるのに、「経営協議会」や「役員会」のメンバーではないという不自然な状況を解消するため、7月23日開催の役員会で特命理事に関する規則を制定したこと、8月1日から林事務局長に特命理事（財務・労務担当）の職務も担ってもらうとの報告があった。

2. ビジョン2030・セントラルドグマの図について

喜多理事から、資料に基づき、本学はダイバーシティの推進、インクルージョン（包摂性）のある社会の実現にも取り組んでおり、そのことをビジョン2030・セントラルドグマの図に入れたいとの意見があったことから、セントラルドグマの図に追記したこと、追記した図は役員等懇談会で了承をされたとの報告があった。

海妻副学長から、ダイバーシティ推進室で現在受けている文部科学省補助事業のアドバイザリーボードから、今後も女性研究者の活躍をもたらす上で、なぜ女性教員を増

やそうとしているのかということ学内的にも学外的にも説明することが必要ではないかとの意見があったため、大学の経営戦略、運営戦略であるビジョン2030に追記してもらったとの付言があった。

3. 特別な支援を必要とする学生に関する教員FD研修の再配信について

山本理事から、資料に基づき、特別な支援を必要とする学生が増えていることから、令和2年度から令和5年度まで行われた教員FD研修の再配信を行うとの報告があった。

委員から、特別支援を必要とする学生が増えていて、共同獣医学科のように卒業させるだけではなく、獣医師免許を取らせなければならないような学科の場合は、どこまで支援したらよいかとの質問があった。山本理事から、入学させた学生は責任をもって卒業させなければならないが国家資格の合格については悩ましい課題との回答があり、学長からは、教員養成を含め資格取得についてはそれぞれの部局で相談しながら進めてほしいとの回答があった。

4. 提携講義（教養教育科目「社会連携学A」「社会連携学B」）について

山本理事から、資料に基づき、提携講義（教養教育科目「社会連携学A」「社会連携学B」）の開講について報告があった。

5. 共同研究部門の設置について

水野理事から、資料に基づき、岩手銀行から地域協創教育センターを受け入れ部局とする共同研究部門の設置申込書の提出があり、審議の結果、令和6年10月1日から令和10年3月31日まで地域協創教育センター 岩手銀行共同研究部門を設置することになった旨報告があった。

委員から、地域の企業と連携して地域教育を行うことはよいことだが、企業の宣伝とにならないよう確認しながら進めて欲しいとの意見が出された。

6. 寄附講義「いわて観光・地域魅力発掘人材育成講座」の設置について

小藤田副学長から、資料に基づき、寄附講義「いわて観光・地域魅力発掘人材育成講座」の設置について報告があった。

7. 教員人事に関する報告について

教員人事について、資料に基づき、教育学部長から2件、教育学研究科長から1件、理工学部長から3件、農学部長から1件の報告があった。

委員から、教育学部の准教授採用案件について、採用者の年齢が若いことから、テニョアトラック付きの講師採用にする選択肢はなかったのかとの質問が出された。教育学部長から、採用者の業績が准教授採用基準の業績を満たしていることから、学部では准教授採用で人事を進めたとの回答があった。

8. 役員会報告について

- 9. 学長・副学長会議報告について
- 10. 入試結果の報告について
資料のとおり。
- 11. その他
なし。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の9月26日（木）の15時から開催することが述べられた。